



こぼと

千葉市立第二特別支援学校

学校だより

令和8年5月20日
第2号

「明日も楽しみ！」と思える学校に

教頭

日差しが温かく、校内では子供たちの半袖姿が多く見られるようになってきました。新年度が始まり、1か月以上が経ちました。ゴールデンウィークはどのように過ごしたでしょうか。連休後は、「新しい環境」ではなく、「自分のクラスに戻ってきた」というような気持ちが一人一人の表情から感じられました。とても早く、新しい環境に慣れることができていると思います。

千葉市養護教育センターより着任いたしました。まだ、スピーディーに判断ができないことも多いですが、保護者の皆様からの声を的確に理解し、管理職を初め職員一同でよりよい方向性を話し合っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

5月15日は、学校説明会へのご参加ありがとうございました。本校の「めざす子供像」について、あらためてご紹介します。

①「にこにこげんきで丈夫な子」：まずは、元気に登校できることが大切です。多くの児童がスクールバスで登校しますが、毎日の生活リズムが確立してくると、気持ちも安定します。また、しっかり食べて、運動して丈夫な身体をめざします。給食では、様々な食材をつかって食物の色味や食感に触れる機会を提供しています。

②「よく学びよく遊び自分でできる子」：児童が自分でやってみて、初めての経験を乗り越えること、そして、それらの経験を積み重ねていくことで、自分でできることが増えることはとても大切なことです。また、様々な遊びを通して、試行錯誤したりルールを理解したりしながら多くのことを学ぶことができます。子供たちがひとつでも多く、できることを積み重ねていけるように支援していきます。

③「うれしさがんばり認め合う子」：嬉しいことや楽しいことを笑顔や声、言葉で表現できたり「ありがとう」などと素直に伝えることができたりしたら、教室はとても温かい雰囲気に包まれた空間になります。その中で、友達を意識できるようになったり、自分もやってみようとして挑戦したりする姿が見られることをめざしていきます。

今年度から、学校名が「第二特別支援学校」に変わりましたが、「めざす子供像」の①～③の頭文字である、「に・よ・う」は引き続き継続し、大切にしていまいります。

5月、6月は、校外学習や水泳学習などがあります。気候もどんどん蒸し暑くなってきました。子供たちの安全・安心により配慮し、一人一人が「楽しい!」「明日も楽しみ!」と思えるような学校生活になるよう、教職員一同尽力してまいります。様々な場面で、保護者の皆様へのご協力をお願いすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。